



TCA

— NEWS —

Vol.105 5月号

発行
富山市民国際交流協会

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号
CiCビル3F富山市民国際交流センター内
TEL (076) 444-0642 FAX (076) 444-0643
発行責任者 広報・組織強化委員会

富山市民国際交流協会は平成5年1月に設立し、今年で設立30周年を迎えることとなりました。
これまで、多くの方々に支えられながら今日に到りましたことを、改めて深く感謝申し上げます。



国際交流センター開所(2013年)



国際交流フェスティバル(2012年)



富山まつり(2015年)



創刊号表紙



100号表紙



日本語クラス(2018年)



ダーラム市訪問 空港にて(2007年)



富山市総合防災訓練参加(2019年)

令和5年度 総会・設立30周年 記念講演会及び記念交流パーティー

令和5年 **5月28日(日)** 総会・記念講演会(会場 CiC3F とやま市民交流館)

総会 15:00

記念講演会 16:00~17:00

演題 「草の根のコスモポリタニズム — 市民ができること」※お話は日本語です。

講師 ベティーナ・ギルデンハルトさん
同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部准教授

定員 90人(要申込・定員になり次第締め切り)

参加費 無料

記念交流パーティー 17:15~19:15

会場 富山地鉄ホテル アルシェフ

定員 35人(要申込・定員になり次第締め切り)

参加費 7,000円

申込締切 5月17日(水)までにお申し込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。



講師プロフィール

南部ドイツのチュー
ビンゲン生まれ。
大学で日本学とドイツ
文学を専攻。
1998年から日本在住。
2003年に同志社大
学に就職、

現在、同志社大学グローバル・コミュニケーション学部准教授。
2017年CLAIR多文化共生マネージャーに
認定。

外国語ボランティア養成講座

自転車の安全運転 令和5年1月14日(土) 参加者38名

前半 お話 講師 富山市生活安全交通課 主事 竹内 晴貴さん

後半 語彙・表現練習(英語・中国語・韓国語)

最近では外国人利用者の自転車の事故も増えている。ブレーキやライトなどの事前の点検の必要性を教えてあげるべきだ。軽車両と見なされる自転車は、基本的には車道を走らなければならないのだが、場合によっては歩道を走ることもでき、その時の歩行者優先のルールや一時停止の大切さを知らせてあげるといい。その他自転車の利用に関しては2段階右折の原則や鍵かけの大切さ、譲渡された自転車の防犯登録の必要性を外国人に説明する必要がある。

外国人は日本の交通ルール、特に車の左側通行に不慣れなことから安全未確認による事故が多い。また交差点で待っている時、車道近くに立っていることが多く内輪差による車との接触事故が多い。青信号の点滅の意味も分かっていない人がいる。事故にあった時の対処法がわからないことも多いので、110番と119番の意味を知らせておく必要がある。夜は明るい服装で、もしできれば反射材等を身に着けることをアドバイスし、交通標識の大切さも教えてあげよう。

後半は、多言語版の交通ルールについてのパンフレットを使って、用語や表現を学習した。



日本における交通安全ガイド
英語、中国語、韓国語版

ごみの分け方、出し方 令和5年2月4日(土) 参加者33名

前半 お話 講師 富山市環境センター 業務課管理係 係長 藤定 誠さん
管理課減量推進係 主事 禅野 健一郎さん

後半 語彙・表現練習(英語・中国語・韓国語)

富山市では年間16万トンのごみが出され、その処理に年間24億円の費用が掛かっている。その量を減らし、また資源物として再利用を目指す循環型のまちづくりのために3Rに取り組んでいる。最初のRはreduceで、余計なものを買わない、使わない、例えば買い物の際にマイバッグを持って行けばレジ袋を使わなくて済む。食品ロスを少なくすることもこの一つである。次のRは reuseで、使い終わったものをすぐ捨てるのではなく繰り返し使うようにする。使い終わった歯ブラシを戸の棧を掃除するブラシとして使うなどである。最後はrecycleで空き缶、空き瓶、ペットボトルなどのプラスチック製品を普通のごみと分けて別の箱に入れて集め、再利用センターで新たな製品としてよみがえらせることである。その際きれいに洗浄して出す、また缶などはつぶさずに出す。これはセンターでマグネットを使ってスチール缶とアルミ缶とを分けるのだが、つぶしてあるとかえって分けにくくなる。逆に、プラスチック容器はその全体の容量を少なくするためにつぶすことが推奨されている。また瓶は3種類の色に分けて出すことが必要だが、それはセンターで砕いて溶かし新しい製品にするとき色に混ざってしまうからである。その他、市民として守るべき様々な規則が一覧表となっており、それに基づいて外国人に知らせてあげることもとても大事である。



外国語版「家庭ごみの分け方・出し方」
英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、
ロシア語、ベトナム語版

雷鳥だより (やさしい日本語・英語版)

Vol.4号(4月号)発行しました。

今回の内容は、1 ページは行事、2～3 ページは「ごみを出す」4 ページは、「富山の春祭り」です。皆様のご意見やご提案をお待ちしてます。

(協会Webサイト <https://tca-toyama.jp/> 参照)

MPB(ブラジルのポピュラー音楽)でポルトガル語を鍛えよう！

講師 ポルトガル語相談員 白川 セリナ サナエさん

令和5年2月13日(月)・3月13日(月)

白川先生の2月のブラジル・グルメはfarofa(ファロツファ)。その主成分はmanjoca(キャッサバ芋粉)で、ブラジル北部で常食される。いろいろな具材と炒めて味付けしたものは、洋風おから炒めといった趣き。そのまま食べたり、焼いた肉の付け合わせにして、肉にまぶして食べたりする。好みで水分多めにしっとり仕上げて、カラカラに煎りつけてもよいが、水分を少なくすると、喉を通るときにむせやすいところがある粉に似ている。

人一倍むせやすい私は、持ち帰ったファロツファに霧吹きでたっぷり水を吹きかけ、食パンの間に挟んでホットサンドイッチに仕立てて食べた。

3月のグルメはOlho de sogra(お姑さんの目)という不思議な名前のスイーツ。材料のプルーンをあんずやナツメヤシに換えると「お舅さんの目」や「お隣さんの目」に名前が変わるのも面白い。

2月の曲はVou Festejar(お祝いしよう) / Beth Carvalho(ベッチ・カルヴァリョ)。

3月はNinguém Tasca(O gavião)(手をだすな(ハゲ鷹どもめ)) / Pedrinho Rodrigues(ペドリーニョ・ホドリゲス)

委員会報告

文化交流 華道体験 参加者 日本人8名 外国人15名

令和5年3月5日(日)

コロナ禍から日常生活が戻りつつある中、参加者は20名以上、外国の方にも沢山ご参加いただきました。

今回のお花は啓翁桜とチューリップで、少し早い春の訪れを感じるイベントとなりました。桜の固い枝を切るのに苦労した方もいらっしゃいましたが、先生からのアドバイスやサポートのおかげで、終始楽しく和やかな雰囲気でした。皆さん思い思いに作品を仕上げた後は、写真撮影をして早い春とお喋りに花を咲かせました。



ボランティア 水引体験 参加者 日本人14名 外国人3名

令和5年3月30日(木)

水引でアクセサリ作りなんてステキと集まった方々、はじめはややこしい結び方に細い水引であちちを重ね、こっちに入れと四苦八苦。慣れておもしろさが分かってくると、色彩や結びの違いで次々と作品ができ上がり、一人で何作品もイヤリング、ストラップ、クリップなど、一端の工芸品に笑顔で変身しました。

日本の伝統工芸を垣間見ることができた楽しい時間でした。



国際教養 英語プレゼンテーション “California”

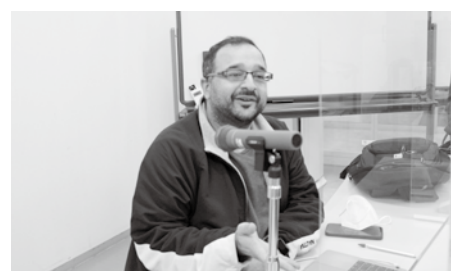
令和5年1月10日(火)

講師 Dr. Rawaha Memon (米国出身)

カリフォルニア在住で一時帰国中のラワハさんに帰米前の忙しい中プレゼンしていただきました。

彼は南カリフォルニア大学で歯科医学位を取り、日本人の妻(富山市出身)と結婚、現在はロサンゼルス郊外で歯科医を営んでいるとのこと。

カリフォルニア州は日本よりやや面積が広く、人口約4000万人であり、その内移民が1000万人である。ロサンゼルスは物価の高さ、交通渋滞、環境汚染など問題を多く抱えている。しかし米国各州を回ったが、気候に恵まれ、多様な文化を許容し、活気があるので一番気に入っているそうだ。



講師 Ms. Irdina Haidah Binti Mazlee

ディナさんは2年前に来日、富山大学で経営管理学を学ぶ学生で、将来は日本とマレーシアの橋渡しをする職に就きたいとのことでした。マレーシアは、過去のイギリス植民時代に中国からは鉱山労働者として、インドからはゴムなどのプランテーション労働者として移民を受け入れた経緯があり、今ではマレー系約70%、中華系約23%、インド系約7%の人口構成となっています。それぞれの民族の祭りが尊重され、国民の祝日となっているそうです。これらの多様化が保たれている理由として、他の民族・宗教を学び尊重することを政府が奨励し、学校でも多様性の中で一つの国として統一することの重要性を教育していることがあげられました。国の事情が違ふとは言ふものの、日本での多様性について考えさせられる講演でした。



講師 Ms. Asher Feliz Alleyne

カリブ海に位置し、種子島と同じ大きさで人口が28万人。英語が公用語であり、プロテスタントが多い。

主な産業は観光業で、ハイシーズンは12月から3月だそうだ。自然が豊かで、マリンスポーツやハイキングなどのアウトドア体験ができる。ブラジルのリオのようなカーニバルも有名らしい。

カリブ海の人々はリラックスしたり、出かけるのが好きで、自分が楽しむことが一番大切である。働きすぎている人を見たら「働きすぎたらだめよ。」と声掛けする。挨拶は、ことさら大切で、見知らぬ人とでも交わす。

イエロー(黄色でバンの形)とブルー(青色)の2種類の路線バスがある。イエローバスはかなりスピードを出し、車掌がバスの中で運賃を集める。大きな音量で音楽を流し、観光客からはレゲエバスと呼ばれ、若者向けのバスである。ブルーバスは公共バスで、ゆっくり走り安全運転で、年配者向けであり、運賃は運賃箱に入れ、距離に関わらず同額である。

ローカルなものやレゲエなど、様々なジャンルの音楽がある。

音楽があると踊りもあり、みんなが音楽を楽しむ。教会にはタンバリンが必需品で、ミサではタンバリンを打ち鳴らしダンスする。



ボランティア

使用済み切手収集 ご協力ありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた使用済み切手を3月30日、富山県ボランティアセンターに届けました。この切手は、医療従事者の海外派遣や人材育成協力、現地の草の根活動を側面から支えることに使われます。みなさまのご協力で深くお礼申し上げます。

編集後記

猛威をふるったコロナも落ち着いて第5類のインフルエンザと同じ扱いになりました。当協会でもイベントが復活し、講座も通常通り行われるようになります。これまではマスクをつけ、人との間隔を取るという環境の中で、もどかしさを感じるともありました。今後は少しずつ以前のような環境に戻り、自由な活動ができることを切に望みます。(川除)

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076(444)0642 FAX 076(444)0643
E-mail info@tca-toyama.jp

※日程変更になる場合もありますので、ホームページ <https://tca-toyama.jp/> でご確認ください、協会までお問合せください。

日 時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会 費	対 象
5月21日(日)	とやま巡り① 富山のまち周辺	15	梅沢町界限	ボランティア	無料	会員・外国人
5月27日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座 前期① 「新湊・射水ベイエリア」	35	とやま市民交流館	—	無料	会員
5月28日(日) 15:00~	令和5年度総会	—	とやま市民交流館	—	—	会員
	設立30周年記念講演会	90	とやま市民交流館	—	無料	会員・一般
	設立30周年記念交流パーティー	35	富山地鉄ホテルアルシェフ	—	7,000円	会員
6月4日(日) 9:30~17:00	国内研修 ※定員に達しました。	20	南砺市	総務企画	3,000円	会員
6月10日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座 前期② 「とやまのまち歩き」	35	とやま市民交流館	—	無料	会員
6月25日(日) 13:30~15:30	折紙と七夕短冊作り	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
7月7日(金)	北陸都市国際交流連絡会総会及び研修会	50	当センター	—	—	会員
7月22日(土) 13:30~15:15	外国語ボランティア養成講座 前期③ 「伏木エリア」	35	当センター	—	無料	会員
9月9日(土) 13:30~15:30	災害時外国人支援語学ボランティア研修会	24	当センター	合同	無料	会員・一般

※休館日(4月~8月)…4月18日(火)、5月16日(火)、6月20日(火)、7月18日(火)、8月なし

令和5年度 講座一覧

協会主催講座

No	講座・クラス名		日 時		受講料他	回 数
1	中国語	初級	毎週金曜日	18:30~20:00	会員 8,000円	30回
2	韓国語	初級	毎週水曜日	18:30~20:00	会員 8,000円	30回
3	韓国語カフェ	上級	毎月第3日曜日	13:30~15:00	会員無料	12回
4		中級	毎月第1木曜日	19:00~20:30	会員無料	12回
5		やり直し	毎月第2金曜日	10:30~12:00	会員無料	12回
6	日本語学習支援教室「勉強お助け隊」		毎週日曜日	10:15~11:45	無料	週1回
7	ポルトガル語 (上級レベル/ブラジルのポピュラー音楽で学ぶ)		毎月1回	18:30~20:00	会員無料 一般 300円	9回
8	ボランティアによる日本語		毎週(随時)	随時	300円	週1回
9	外国語ボランティア養成(前期・後期) (英語・中国語・韓国語・ポルトガル語)		第2又は第4土曜日	13:30~15:15	無料	前・後期各3回

国際教養委員会主催講座

No	講座・クラス名		日 時		受講料他	回 数
1	英語	① Let's Learn English Words and Expressions through the Cultures !	毎月第2土曜日	10:30~12:00	会員無料	10回
2		② 通訳・ガイド実践	毎月第3土曜日	10:10~12:10	会員無料	12回
3		③ ニューズイングリッシュ	毎月第4土曜日	10:10~12:10	会員無料	12回
4		④ Presentation by English Speaking Guest	毎月第1火曜日	18:30~20:00	会員無料 一般 300円	10回
5	中国語	入門	毎月第1土曜日	10:30~12:00	会員無料	10回
6		中国語で話してみよう	毎月第2土曜日	10:30~12:00	会員無料	10回
7		初級ヒアリング	毎月第4土曜日	10:30~12:00	会員無料	10回
8	ロシア語入門・初級会話		毎月第3土曜日	13:30~15:00	会員無料	10回
9	日本語ボランティア養成		毎月第1・3木曜日	10:30~12:00	会員無料	前・後期各12回
10	日本語ボランティア養成(ステップアップクラス)		毎月第2・4木曜日	10:30~12:00	会員無料	前・後期各12回
11	多言語文化交際		毎月第1土曜日	13:30~15:00	会員無料 一般 300円	8回

※講座・クラスによっては、教材費などの実費が必要な場合もあります。



G7の参加国を知ろう

G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING IN TOYAMA AND KANAZAWA
富山・金沢 教育大臣会合

G7 富山・金沢教育大臣会合が5月に開催されるにあたり、講座「G7の参加国を知ろう」を実施し、文化や教育制度について学びました。

令和5年
4月1日(土)

米国 オレゴン州 ～美しい自然と学校～

(多国言語文化交流クラス)



講師 デルゼル クロイさん

オレゴン州は富山県の友好提携都市であり、州の大きさは富山県の60倍とたいへん大きく、海岸から内陸まで山・森・高原・砂漠いろいろな風景が見られる。クラフトビールやワインも有名で、ヘーゼルナッツも生産量が全米トップである。ブランドとしてはNIKEが有名で、映画『スタンドバイミー』はオレゴン州で撮影された。

教育制度は州によって、また学区によっても制度が異なる。日本と異なる点は、①新学期が秋に始まる。②生徒は掃除しない。③先生が教室にいて生徒が移動する。④一般的に制服はない。(ドレスコードはある。)⑤夏休みが長い。(2.5ヵ月)⑥車の運転もOKである。交通網が発達していないので15歳から仮免が取れ、16歳から本格的に免許が取れる。⑦卒業時にプロム(ダンスパーティー)がある。⑧スポーツは、春はゴルフ、秋バレーボール、冬バスケットなど季節ごとに様々なスポーツを楽しむ。などがあります。



令和5年
4月4日(火)

ドイツ “University and School Life in Germany”

ハイブリッド(英語プレゼンテーション)



講師 Mr. Marvin Albert (公財)日独協会研修生・ドイツ・トリア大学学生

ドイツは16の州によって構成され、教育制度を決めるのは各州である。ザーランド州出身のマビンさんにお話を聞きました。

小学校にあたるGrundschuleの後、ギムナジウム(大学進学のための高校)、職業学校等のコースに分かれる。10歳になると進路を決めなければいけない。

大学に行くためには、ギムナジウムに行き、アビトゥア(Abitur高校卒業証明、高等教育プログラムへの入学資格)を取る必要がある。学費はほぼ無料で大学入試テストがなく、日本や米国のように大学のランク付けはない。また大学入学前に南米など外国旅行したり、働いたりしてから入る学生もいて様々な年齢の学生が在籍する。

クラブ活動は、学校の一部ではなく地域での活動となる。



令和5年
4月15日(土)

英国 ～文化と学校～

(多国言語文化交流クラス)



講師 ジョン ガラガーさん ジョンの英会話教室主宰

英国は、グレートブリテン(イングランド、ウェールズ、スコットランド)と北アイルランドを含めた総称である。英国人は紳士で礼儀正しくお酒とジョークが好きで感情を表に出さないとされている。

学校については日本と同じように制服や給食がある。公立学校(State School)と私立学校(Public School)があり、公立学校はほとんどの子どもたちが通い、無償であるがPublic Schoolは学費がかかる。「House System」というシステムがあり、学校内で性別年齢混合の縦割りグループある。大学進学を目指す生徒のための「Six Form」(高等教育進学準備教育課程)はSecondary School(日本の中・高校にあたる)の最後の2年間で、その間に大学と専攻を決める。一般教養課程はなく専攻の科目に特化して学ぶところが日本と異なる。

